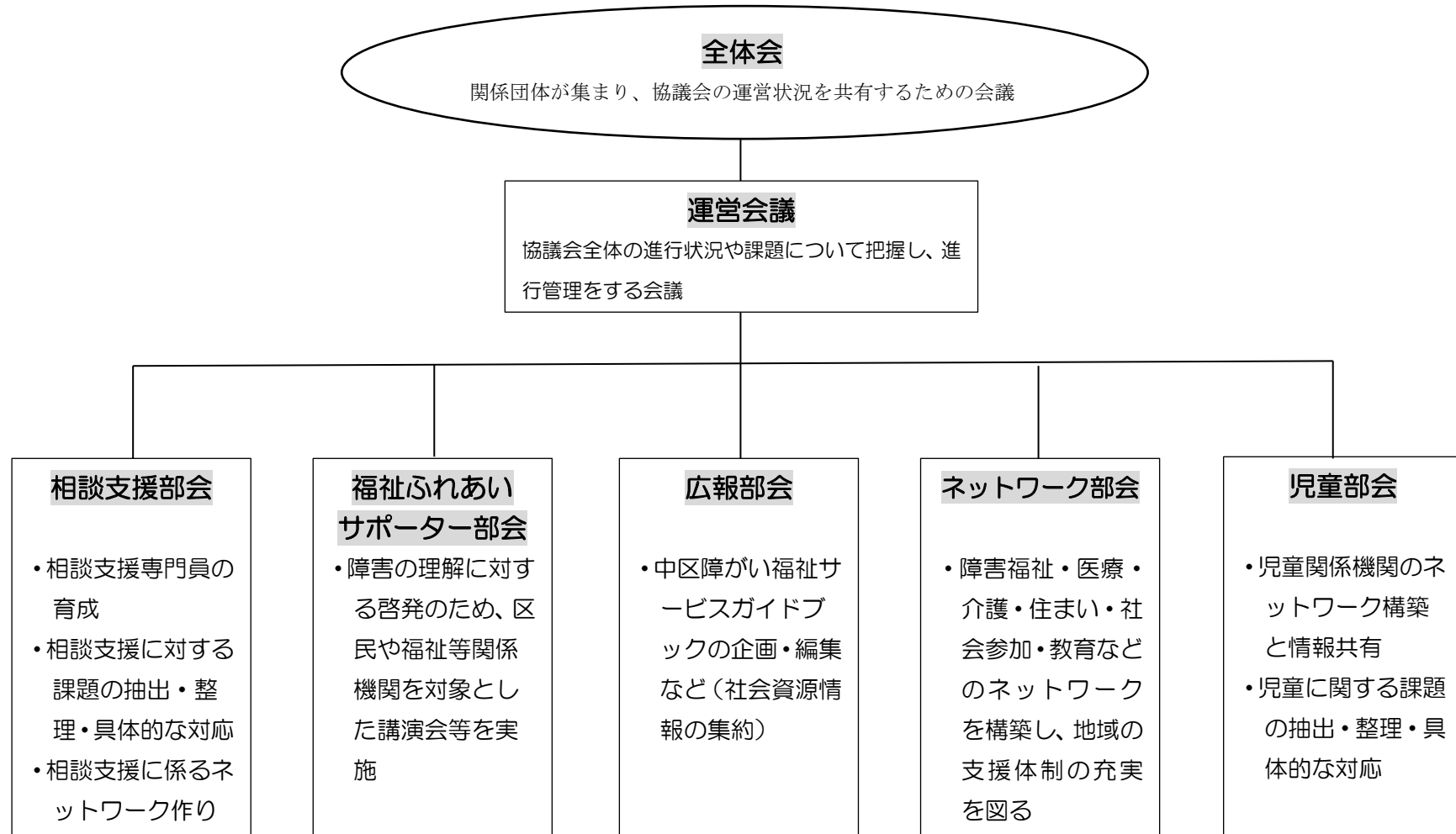


令和元年度
中区障害者自立支援連絡協議会
活動報告書
(令和元年4月～令和2年3月)

中区障害者自立支援連絡協議会
令和2年5月

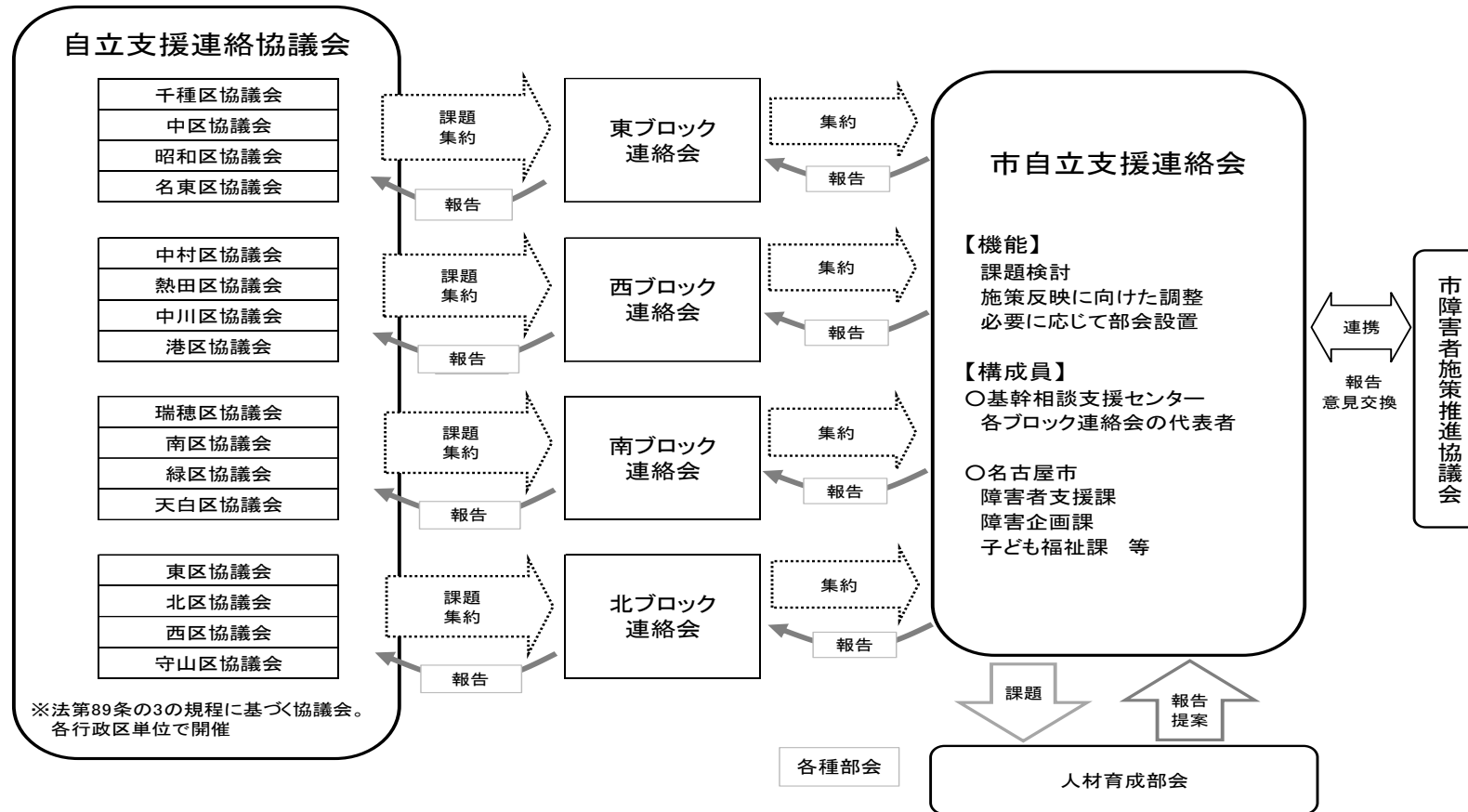
1 中区障害者自立支援連絡協議会組織図

障害のある方が地域で安心して生活するために「人と人をつなぎ、地域課題を地域で共有し、解決に向けて地域で協働する場」です。障害福祉に関係する者に限らず、保健、医療、教育、就労、当事者、地域住民などありとあらゆる方が、地域づくりのために協議し取り組みます



2 名古屋市における協議会の組織図

自立支援連絡協議会で明らかになった市域レベルで取り組むべき課題を協議する仕組み



3 中区障害者自立支援連絡協議会名簿

※名簿は令和2年3月末現在のものです（別紙名簿を参照）

※増減状況（4月～3月）

	B型	A型	移行	生活訓練	児童発達・放デイ	居宅	訪看	合計
新規	2		3		1		1	+7
移転・廃止・休止	1	2	2	1	3	3		△11
合計	+1	△2	+1	△1	△2	△3	+1	△5

4 専門部会の活動概要

■相談支援部会

① 専門部会の検討テーマ・目的

- 相談支援専門員の育成
- 相談支援に対する課題の抽出・整理・具体的な対応
- 相談支援に係るネットワーク作り

② 専門部会の開催状況と主な協議内容

	日時	主な協議内容	参加機関	参加人数
1	4月15日	各相談機関の状況共有とケース課題について協議 【主な内容】	9機関	15名

		<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源情報の共有 ・各相談機関が困っているケースを共有し、課題の抽出・具体的な対応について検討 		
2	5月20日	<u>各相談機関の状況共有とケース課題について協議</u> 【主な内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・社会資源情報の共有 ・各相談機関が困っているケースを共有し、課題の抽出・具体的な対応について検討 	9機関	16名
3	6月17日	<u>各相談機関の状況共有とケース課題について協議</u> 【主な内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・社会資源情報の共有 ・各相談機関が困っているケースを共有し、課題の抽出・具体的な対応について検討 	6機関	11名
4	7月23日	<u>スキルアップ研修の実施（見学会）</u> 【主な内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・見学会（研修会） 「福祉用具・住宅改造について」 場所：なごや福祉用具プラザ 	10機関	19名
5	8月19日	<u>各相談機関の状況共有とケース課題について協議</u> 【主な内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・社会資源情報の共有 ・各相談機関が困っているケースを共有し、課題の抽出・具体的な対応について検討 	6機関	11名
6	9月17日	<u>スキルアップ研修の実施（事例検討会）</u> 【主な内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・事例検討会 事例提供者（あんあん居宅介護支援事業所） 	7機関	12名

7	10月21日	<u>各相談機関の状況共有とケース課題について協議</u> 【主な内容】 ・社会資源情報の共有 ・各相談機関が困っているケースを共有し、課題の抽出・具体的な対応について検討	6 機関	11 名
8	11月18日	<u>各相談機関の状況共有とケース課題について協議</u> 【主な内容】 ・社会資源情報の共有 ・各相談機関が困っているケースを共有し、課題の抽出・具体的な対応について検討	8 機関	12 名
9	12月16日	<u>各相談機関の状況共有とケース課題について協議</u> 【主な内容】 ・社会資源情報の共有 ・各相談機関が困っているケースを共有し、課題の抽出・具体的な対応について検討	10 機関	18 名
10	1月24日	<u>スキルアップ研修会の実施（見学会）</u> 【主な内容】 ・見学会 【精神科病院とデイケアについて】 場所：精治寮病院	7 機関	10 名
11	2月17日	<u>各相談機関の状況共有とケース課題について協議</u> 【主な内容】 ・社会資源情報の共有 ・各相談機関が困っているケースを共有し、課題の抽出・具体的な対応について検討	7 機関	9 名
12	3月16日	<u>中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）</u>		
合計			85 機関	144 名

③ 専門部会の協議で見えてきた課題等

(1) 困難事例の検討	
現状・課題	○スキルアップを目的に各相談機関が抱えている困難事例の支援について検討
現状・課題に対する意見	○困っているケースについて定期的に検討する場が必要 ○事例検討を行ない、課題の整理や具体的な対応の手立てを考える場が必要
解決に向けた取り組み	○月に1回、中区の相談支援事業所、中区役所、中区保健センター、中央療育センター、中区社会福祉協議会、中区いきいき支援センター、中区基幹センターが集まり各相談機関で困っているケースについて検討 ○困っているケースについて事例提供者を募り、野中式事例検討会を実施
(2) 社会資源情報共有	
現状・課題	○ヘルパーが見つからない ○社会資源の情報収集と共有
現状・課題に対する意見	○ヘルパー利用を希望するために事業所に問い合わせをするがなかなか見つけることができない。 ○「就労移行」「A型」「B型」「グループホーム」など新規事業所が毎月開設されているので情報を得られるとありがたい
解決に向けた取り組み	○2か月に1回、「通所施設」「ヘルパー事業所」の空き状況について情報共有をすることで相談業務に活用してもらえた。 ○月1回、中区基幹センターに集まった福祉サービス情報や福祉制度について情報共有を行なうことで相談業務に活用してもらえた。
(3) スキルアップ研修	
現状・課題	○相談支援専門員のスキルアップ ○社会資源の情報収集とネットワーク構築

現状・課題に対する意見	<p>○「なごや福祉用具プラザ」に訪問や相談したことがなく、こういった事業を行なっているのかを見学できるとありがたい。また、住宅改修の制度があることは知っているが、利用したことがない</p> <p>○精神科デイケアについて、見学をしたことがなくどのような手順で利用が出来るのか知りたい</p>
解決に向けた取り組み	<p>○「なごや福祉用具プラザ」の見学会</p> <p>○「なごや福祉用具プラザ」にてプラザの概要や福祉用具の制度の説明、住宅改修の制度利用や事例について説明を受けた。また福祉用具プラザにある福祉用具の体験や解説を受けた</p> <p>○「精治療病院デイケア」にてデイケアの見学、利用方法、制度の説明を受けた。事例を通じて当事者がデイケアの利用の仕方を具体的に学べた</p> <p>○事例検討会（野中式）</p> <p>事例検討ではケースの「概要把握」「全体像把握」を参加者の質問を基に行ない、「支援目標設定」「支援計画策定」を行なった。事例提供者からは「さまざまな意見が出たので参考になった」「意見を参考にして支援を行ない、改めて本人の希望や課題を確認することができた」との感想を聞くことが出来た</p>

■福祉ふれあいサポーター部会

① 専門部会の検討テーマ・目的

○講演会やイベント活動などを通じて、地域住民や福祉関係機関等に対して障害の理解に対する啓発を行なう

② 専門部会の開催状況と主な協議内容

	日時	主な協議内容	参加機関	参加人数
1	6月20日	<p>地域のイベント参加について協議</p> <p>【主な内容】</p>	6 機関	8 名

		<ul style="list-style-type: none"> ・活動目的と令和元年度活動の確認 ・「中区安心・安全・快適なまちづくりフェスタ 2019」の出展内容の検討 		
2	7月29日	<u>地域のイベント参加について協議</u> 【主な内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・「中区安心・安全・快適なまちづくりフェスタ 2019」の出展内容の検討 ・部会長の選出 	6 機関	8 名
3	9月13日	<u>地域のイベント参加について協議</u> 【主な内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・「中区安心・安全・快適なまちづくりフェスタ 2019」の出展内容の検討 	6 機関	9 名
4	9月28日	<u>地域のイベントへの参加</u> 【主な内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・「中区安心・安全・快適なまちづくりフェスタ 2019」 内容：ポッチャ体験 場所：オアシス 21 	9 機関	385 名
5	10月31日	<u>9月イベントの振り返りと2月のイベントについて協議</u> 【主な内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・「中区安心・安全・快適なまちづくりフェスタ 2019」の振り返り ・「フライングディスク体験会」の内容について検討 	6 機関	9 名
6	12月3日	<u>2月のイベントについて協議</u> 【主な内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・「フライングディスク体験会」の内容について検討 	5 機関	7 名
7	1月27日	<u>2月のイベントと令和2年度年間計画について協議</u> 【主な内容】	10 機関	13 名

		<ul style="list-style-type: none"> ・「フライングディスク体験会」の内容について検討 ・「令和2年度年間計画」について検討 		
8	2月9日	イベントへの実施 【主な内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・「フライングディスク体験会」 場所：中スポーツセンター	7 機関	35 名
9	2月19日	2月のイベントと令和元年度の振り返り、令和2年度の活動計画について協議 【主な内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・「フライングディスク体験会」の振り返り ・「令和元年度活動」の振り返り ・「令和2年度活動計画」について検討 	4 機関	6 名
合計		9 回	59 機関	480 名

③ 専門部会の協議で見えてきた課題等

(1) 障害の理解に対する促進及び啓発	
現状・課題	○地域住民や福祉関係機関等の障害に対する理解
現状・課題に対する意見	○講義形式より、楽しみながら障害について理解が深まるような企画が必要ではないか ○時期的にパラリンピックの協議の中から体験をできるブースを開催してはどうか ○各学区をまわり、啓発活動をしてみるとよいのではないか ○無理なく気軽に不特定多数の方が体験できるフライングディスク体験会を開催してはどうか
解決に向けた取り組み	○地域で開催するイベントへの参加・協力 〔ボッチャ体験会〕 ○中区役所地域力推進室主催「中区安心・安全・快適なまちづくりフェスタ 2019」に参加し、障害者スポーツ

	<p>「ボッチャ体験」ブースを出展。372名がボッチャ体験を行なった。部会員からは「ボッチャは名古屋市でも推奨しているのでタイムリーな企画だったと思う」「子ども・高齢者・障害者誰もが楽しめた。勝負のあるゲームは盛り上がるのでよかった」「体験した人たちは楽しそうな様子だったので満足度はそれなりに高かったと思う」「委託料の使い方として授産製品を景品にすることは賛成です」といった感想が出た</p> <ul style="list-style-type: none"> ○名古屋市障害者スポーツセンターに「ボッチャ体験」の協力を依頼 ○なかよしマーケットに景品作成と配布の協力を依頼 ○令和元年度人権尊重のまちづくり事業の委託を受け、「中区安心・安全・快適なまちづくりフェスタ 2019」における人権尊重のまちづくりブース出展にかかる企画・運営で委託料を使用 <p>〔フライングディスク体験会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「フライングディスク体験会」の開催。体験者数 35 名。体験者からは「競技を初めて知った」「障害、高齢、子ども、誰でも楽しめる内容で楽しかった」そして部会員からは「楽しんでもらえたと思う」「知ってもらい一歩になったのではないか」といった感想が出た ○愛知県フライングディスク協会に「フライングディスク体験会」の協力を依頼 ○なかよしマーケットに景品作成と配布の協力を依頼
--	---

(2) 地域住民への障害の理解に対する啓発	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○各種イベントを開催するが、中区内の地域住民の参加が少ない ○各学区の民生委員・児童委員との関わりが薄い
現状・課題に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民と福祉関係機関等へ向けたものと分けた方が効果的ではないか ○各学区の民生委員・児童委員協議会へ出張訪問し、情報提供をするとよいのではないか
解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○令和2年度から各学区へ出張訪問について保健センターと民生子ども課に協力を依頼した

■広報部会

① 専門部会の検討テーマ・目的

- 区内の社会資源情報の集約
- 中区障がい福祉サービスガイドブックの企画・編集

② 専門部会の開催状況と主な協議内容

	日時	主な協議内容	参加機関	参加人数
1	5月17日	ガイドブック更新作業について協議 【主な内容】 ・広報部会の目的の確認 ・令和元年度活動の確認 ・下原稿作成依頼先について	5 機関	7 名
2	6月21日	ガイドブック更新作業について協議 【主な内容】 ・ガイドブックのレイアウト、掲載内容について ・ガイドブックの情報集約方法について ・下原稿作成依頼先について	4 機関	6 名
3	7月19日	ガイドブック更新作業について協議 【主な内容】 ・ガイドブックのレイアウト、表裏表紙、掲載内容について	4 機関	5 名

		<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブックの情報集約方法について ・下原稿作成依頼先について 		
4	11月21日	ガイドブック更新作業について協議 【主な内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブックの原稿確認 ・ガイドブック配布先と今後の予定について確認 	5機関	7名
5	3月3日	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）		
合計		4回	18機関	25名

③ 専門部会の協議で見えてきた課題等

(1) 中区障がい福祉サービスガイドブックの更新	
現状・課題	○新規事業所が年々増えていることから、情報の集約方法や掲載方法を見直す必要がある
現状・課題に対する意見	○各事業所からの情報形式を統一した方が見やすいため、統一的な聞き取りを行なって掲載した方が良い ○現在、部会長の行なっている編集作業負担が大きいので有料の業者へ依頼する事を検討した方がいい ○中保健センター申請窓口が、どのように変更するか分からないので分かった時点で掲載方法の検討した方がいいのではないか
解決に向けた取り組み	○情報集約方法の検討 各事業所から送られた情報を統一的な形式に合せて掲載できるようにデータ修正を行なった ○製本データ作成業者の検討 A型事業所3カ所と一般業者に相見積もりを行ない、一番安価な所に製本データ作成業者を決定した ○中区保健センターの申請窓口の内容変更を行なった。 ○区政運営方針の施策⑤に位置付け（区役所の予算付）

(2) 訪問看護情報の集約	
現状・課題	○区内の訪問看護事業所を集約したものがない ○訪問看護事業所（医療関係機関）とのネットワークが弱い
現状・課題に対する意見	○中区障がい福祉サービスガイドブックに医療保険適用サービスである訪問看護が掲載されているのは分かりにくいのではないか？
解決に向けた取り組み	○区内すべての指定を受けている訪問看護事業所に対して協議会への協力を依頼（電話・訪問） ○医療保険適用サービスである訪問看護の表記方法について検討。表の色を変えて注釈（医療保険適用サービス）を入れる→後期、再検討によって今年度はヘルパーのページと同様とした。令和2年度に再検討を行なう

(3) 福祉用具情報の集約	
現状・課題	○区内の福祉用具関係機関を集約したものがない ○福祉関係機関とのネットワークが弱い
現状・課題に対する意見	○福祉用具の購入先として利用者や相談員に情報提供の必要性があるのではないか
解決に向けた取り組み	○福祉用具の中区内事業所一覧の掲載について検討。福祉用具情報は幅広く多岐にわたるので情報掲載方法の統一が困難なため今年度は掲載を見合わせる

(4) 中区障がい福祉サービスガイドブックの活用状況の把握	
現状・課題	○各機関や事業所等に使いやすさや活用方法の聞き取りをして利用状況の確認を行なう
現状・課題に対する意見	○中区障がい福祉サービスガイドブックの見やすさや使いやすさ、情報量、活用方法の聞き取りをして来年度の中区障がい福祉サービスガイドブック作成に活かしていく必要がある
解決に向けた取り組み	○使いやすさや活用方法について確認するためにアンケートを作成し、中区障がい福祉サービスガイドブック配布時に同封した。令和2年度にアンケート結果の検証を行う

■ネットワーク部会

① 専門部会の検討テーマ・目的

○障害のある方が自立して安心して地域生活を送れるように、障害福祉・医療・介護・住まい・社会参加・教育などのネットワークを構築し、支援体制の充実を図る

② 専門部会の開催状況と主な協議内容

	日時	主な協議内容	参加機関	参加人数
1	5月24日	<u>地域の社会資源の共有とネットワーク作り</u> 【主な内容】 ・施設見学会 「ひゅーまにあ名古屋栄」(就労移行支援事業所)	19 機関	25 名
2	7月17日	<u>地域の社会資源の共有とネットワーク作り</u> 【主な内容】 ・施設見学会 「CBT-LINKS」(A型) 「あいち就労支援センター」(就労移行支援事業所)	19 機関	26 名
3	9月26日	<u>地域の社会資源の共有とネットワーク作り</u> 【主な内容】 ・施設見学会 「かくれんぼ鶴舞」(基準該当生活介護)	10 機関	17 名

4	10月17日	<u>研修会を実施（防災対策について）</u> 【主な内容】 ・研修会 「防災用品展示説明会と非常食試食会」 講師：株式会社眞照 場所：中区在宅サービスセンター3階研修室	20 機関	29 名
5	12月5日	<u>地域の社会資源の共有とネットワーク作り</u> 【主な内容】 ・施設見学会 「株式会社リバティ 就労継続支援 A 型事業所トレイト」	16 機関	21 名
6	1月24日	<u>地域の社会資源の共有とネットワーク作り</u> 【主な内容】 ・見学会 「名古屋市障害者差別相談センター」 「名古屋市障害者・高齢者権利擁護センター北部事務所」 「名古屋市成年後見あんしんセンター」 「名古屋市障害者虐待相談センター」	25 機関	34 名
7	3月5日	<u>延期（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）</u> 研修会 「アンガーマネジメント研修」		
合計		6回	109 機関	152 名

③ 専門部会の協議で見えてきた課題等

(1) 区内の新規立ち上げ事業所見学会	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の社会資源の情報共有 ○障害福祉・医療・介護・住まい・社会参加・教育などのネットワーク構築 ○見学や体験時の事業所特性と利用者特性のミスマッチ時の対応 ○大学生（障害者）への支援や相談
現状・課題に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の特性やニーズを本人から聞いてマッチする事業所や基幹センターを紹介している ○大学生（障害者）への支援については現状、問い合わせはあるが具体的な支援は行っていない事業所もあれば、実際に連携して支援に取り組み出している事業所もある
解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○新規に立ち上がった事業所の見学会を実施 <p style="margin-left: 20px;">区内の福祉事業所の活動や取り組みなどについて知る機会になった。また、見学会への参加をきっかけに、他職種との交流が深まったことで情報交換が行なえる関係作りに繋がった</p>
(2) 区内福祉関係事業所の防災への取り組み	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○中区の防災の取り組みについて、区内福祉関係機関の理解が薄い
現状・課題に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○中区消防署に地域の取り組みを一緒に行ないたいと相談したが、自分の所で出来る事を考えるように言われた ○要支援者への防災対策は課題がまだまだあると思うので今後も検討する必要がある ○防災準備の各福祉事業所への金銭的な補助があると準備しやすい ○他の福祉事業所がどのような防災の取り組みを行なっているのか知りたい
解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○防災用品展示説明会と非常食試食会を実施することで、普段関わりが少ない防災に関係する事業所との関わりの場を設定した。 ○中区役所総務課に事務局（基幹C）が訪問し、中区における防災取り組みの状況について確認を行なった。ま

	た、令和2年度の全体会で中区の防災の取り組みについて説明をしてもらえるよう依頼した
--	---

(3) 権利擁護について理解を深める(成年後見、虐待・差別相談への取り組み理解と連携)	
現状・課題	○各センターの取り組みや相談体制・内容の理解と合わせて連携方法を知る
現状・課題に対する意見	○知的障害者、精神障害者、認知症高齢者等の判断能力が不十分な方が安心して生活できるよう金銭管理や財産保全等を行なってくれる機関として概要説明を聞いて見学がしたい ○成年後見制度について、制度の種類やサービスを利用するまでの流れ、後見人の役割まで一から分かりやすく知りたい。また、市長申立てについての流れも知りたい ○虐待の現状等どのような虐待があるのか、またどのようなことが虐待にあたるのかを知り、考えるきっかけにしたい。また、通報義務や通報者保護について知りたい ○差別の定義や合理的配慮について考えを深めたい
解決に向けた取り組み	○名古屋市成年後見あんしんセンター・名古屋市障害者虐待相談センター・名古屋市障害者差別相談センターの概要説明会と見学会を行なった。制度に対する理解やセンターの役割の理解の機会となったとの感想が多かった

■児童部会

① 専門部会の検討テーマ・目的

<ul style="list-style-type: none"> ○児童関係機関のネットワークの構築 ○児童に関する情報共有 ○児童に関する課題の抽出・整理・具体的な対応
--

② 専門部会の開催状況と主な協議内容

	日時	主な協議内容	参加機関	参加人数
1	4月18日	3区合同で開催する「性の学習会」イベントの協議 【主な内容】 ・3区合同（中区、瑞穂区、昭和区） 「性の学習会 企画1」開催内容について検討	5機関	8名
2	5月22日	「中区内の社会資源を知る」ための企画を実施 【主な内容】 ・見学会・事業説明会 「中保健センター」 「中区役所民生子ども課」	12機関	17名
3	6月6日	3区合同で開催する「性の学習会」イベントの協議 【主な内容】 ・3区合同（中区、瑞穂区、昭和区） 「性の学習会 企画1」開催内容について検討	5機関	8名
4	7月18日	3区合同で開催する「性の学習会」イベントの協議 【主な内容】 ・3区合同（中区、瑞穂区、昭和区） 「性の学習会 企画1」開催内容について検討	5機関	8名
5	8月23日	3区合同で「性の学習会」イベントを実施 【主な内容】 ・3区合同（中区、瑞穂区、昭和区）	15機関	94名

		「性の学習会 企画1」 FunFun Kid's Summer Fes!! ころとからだのふれあいデー 場所：瑞穂区役所講堂		
6	9月10日	3区合同で開催する「性の学習会」イベントの協議 【主な内容】 ・3区合同（中区、瑞穂区、昭和区） 「性の学習会 企画1」振り返り 「性の学習会 企画2」開催内容について検討	6 機関	10 名
7	9月30日	3区合同で「性の学習会」イベントを実施 【主な内容】 ・3区合同（中区、瑞穂区、昭和区） 「性の学習会 企画2」 せいのはなし～障がいのある子ども・若者の心と体を学ぶ講座～ 講師：伊藤 修毅（日本福祉大学子ども発達学部心理臨床学科准教授） 場所：昭和区役所 604 会議室	12 機関	30 名
8	11月27日	「中区内の社会資源を知る」ための企画を実施 【主な内容】 ・見学会・事業説明会 「中央療育センター」	10 機関	14 名
9	1月27日	3区合同で開催する「性の学習会」イベントの協議 【主な内容】 ・3区合同（中区、瑞穂区、昭和区） 「性の学習会 企画3」開催内容について検討	5 機関	10 名

10	2月4日	<u>「中区内の社会資源を知る」ための企画について協議</u> 【主な内容】 ・令和元年度の活動の振り返り ・令和2年度の活動について ・令和元年度3区合同「性の学習会」について	8機関	11名
11	3月30日	<u>中止（新型コロナウイルス感染症防止のため）</u> <u>3区合同で開催する「性の学習会」イベント</u> <u>「FunFunKids SPRING Fes」</u>		
合計			83機関	210名

③ 専門部会の協議で見えてきた課題等

(1) ネットワークの構築（教育、行政、福祉、医療）	
現状・課題	○行政機関の機能や役割についてよくわかっていない
現状・課題に対する意見	○「民生子ども課」「保健センター」「中央療育センター」「児童福祉センター」「りんくす名古屋」「特別支援学校」などの見学や話が聞きたい。
解決に向けた取り組み	○中保健センター見学会 ○中区役所民生子ども課見学会 ○中央療育センター見学会 児童部会の立ち上げを行ない、1年目は「知る」をテーマとして中保健センター、中区役所民生子ども課、中央療育センターの見学会を実施。それぞれの機能や役割について説明を受け、確認することで理解を深められるようにした

(2) 児童関係機関のスキルの向上	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○「性」についてどのように向き合い、支援していく必要があるのか ○長期休みにおける児童デイサービスでの過ごし方
現状・課題に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○「性の学習会」について継続して勉強会を実施してほしい ○思春期の子ども対応について勉強したい ○長期休みの取り組みに行き詰まりを感じている
解決に向けた取り組み	<p>○中・瑞穂・昭和区の3区合同で「性の学習会」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント（FunFun Kid' s Summer Fes!! ～こころとからだのふれあいデー～） <p>じゃんけん列車やマイムマイム等の遊びを通して他者と触れ合い、自分や相手の身体や心の大切さについて気づきのきっかけとなる場を設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント（FunFun Kid' s SPRING Fes） <p>開催する予定で企画を進めていたが新型コロナウイルスの感染症防止のため中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会（基本講座） <p>「性」についての基本講座を実施。家庭や事業所でどのように学習を進めていくのかについて基本を学び、実践に向けていく機会となるようにした（講師：日本福祉大学子ども発達学部准教授 伊藤修毅氏）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><u>〔3区合同開催の課題〕</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中区の事業所の参加者が少ない（開催場所を他区で開催することが多く、参加が難しい事業所が多い） ・中区単独で行う時間が担保できない（3区合同で行う割合が多い） ・令和元年度から活動の内容が変更になったことで、中区でのニーズに沿わなくなった <p style="text-align: center;">↓</p> <p>令和2年度は3区合同開催を縮小し、中区内での活動時間を増やせるようにする</p>

5 運営会議の活動概要

① 運営会議の検討テーマ・目的

- 協議会の進捗状況確認
- 地域課題の整理・課題の抽出・検討
- 社会資源情報の集約

② 運営会議の開催状況と主な協議内容

	日時	主な協議内容	参加機関	参加人数
1	4月26日	協議会の活動状況と課題、計画について協議 【主な内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・社会資源情報の確認 ・平成30年度活動報告（課題集計）の確認 ・令和元年度活動計画の確認 ・各部会の進捗状況確認 	7機関	12名
2	6月26日	協議会の活動状況と課題について協議 【主な内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・社会資源情報の確認 ・各部会の進捗状況確認（課題共有） ・地域支援東ブロック調整会議の進捗状況確認 	6機関	11名

3	8月30日	<u>協議会の活動状況について協議</u> 【主な内容】 ・社会資源情報の確認 ・各部会の進捗状況確認 ・地域支援東ブロック調整会議の進捗状況確認	5 機関	9 名
4	10月28日	<u>協議会の活動状況と課題について協議</u> 【主な内容】 ・社会資源情報の確認 ・各部会の進捗状況確認（課題共有） ・第2回全体会の確認	6 機関	11 名
5	12月20日	<u>協議会の活動状況と課題について協議</u> 【主な内容】 ・社会資源情報の確認 ・各部会の進捗状況確認（課題共有） ・第2回全体会の振り返り	8 機関	13 名
6	3月9日	<u>協議会の活動状況と課題について協議</u> 【主な内容】 ・社会資源情報の確認 ・各部会の進捗状況確認（課題共有） ・令和2年度活動計画確認 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、メンバーを限定して開催	3 機関	4 名
合計		6 回	35 機関	60 名

③ 運営会議の協議で見えてきた課題等

(1) 8050問題	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○介護保険利用（高齢）の親とひきこもりがちな子ども（精神疾患）の世帯の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・子の通院及び就労への不安 ・家計が不明瞭 ・収入の安定化 ・他区在住姉精神疾患により両親の介護難
現状・課題に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○どのような専門機関と連携しながら支援を行なう必要があるのか ○介護保険について理解が不足している
解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○医療機関や障害支援機関と介護保険支援機関との連携 ○いきいき支援センターが相談支援部会に参加し、介護保険関係のケースについてアドバイスできるよう調整 ○介護保険制度の理解を深める研修会の実施 ○精神科病院のワーカーがネットワーク部会へ参加できるよう調整し、顔の見える関係作りに繋がるよう実施

(2) 遠距離での地域移行支援	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○他市の病院に入院（精神疾患）。地域移行支援制度を利用し退院をしようとする方の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・本人は一人であると寂しい。退院後は自宅のある中区近辺のグループホーム（GH）に入居し、日中は作業をしたい希望がある。中区及び近辺でのGHの確保が厳しい ・孤独になると精神不安定で行方不明となる可能性あり ・初めてのGH利用に伴い、GHのイメージができていない可能性が高い ・地域移行支援、退院支援を行なう病院が遠い。交通費が多くかかる為施設見学や体験において負担が家族や本人にかかる。（支援者分の交通費も本人負担）

現状・課題に対する意見	<p>○遠距離での支援における費用負担が大きければ、地域移行支援制度の利用に後ろ向きにならないか</p> <p>○初めてのGH利用で本人が精神的不安定になった場合の対応についてどうしていくか</p>
解決に向けた取り組み	<p>○地域支援東ブロック調整会議【住まいのグループ】にて費用負担大について繰り返し報告</p> <p>○GHと日中活動と一般相談事業所と医療の連携</p> <p>○GHの空き状況等の情報集約方法の検討について東ブロックから市自立支援連絡会へ地域課題として提出</p>

(3) 移動の支援ヘルパーの人材不足	
現状・課題	<p>○日中活動を利用している知的障害者の移動の支援（重度訪問介護）の突然の支援撤退について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームから生活介護事業所への移動がバスから徒歩に変更となり、本人がヘルパーに大きな声で繰り返し同じ話をするようになった ・ヘルパーから「本人の話が耐えられない」という理由と対応できる他のヘルパーがいないことで事業所が撤退となった ・母が週3回、GHが週2回送迎することになった為母の負担が増えた
現状・課題に対する意見	<p>○ヘルパーを見つけようと事業所に連絡してもなかなか見つからない</p> <p>○支援者のスキルが不足している</p>
解決に向けた取り組み	<p>○2か月に1回中区及び熱田区の「ヘルパー事業所」の空き状況を収集し、相談支援事業所と情報共有しているが、令和2年度から昭和区も加わることとなり活用してもらう</p> <p>○ネットワーク部会において「権利擁護について理解を深める研修」を実施。また3月に実施予定していた「アンガーマネジメント研修」が新型コロナ防止の為延期となったので、令和2年度中に実施を予定</p>

6 全体会の活動概要

① 全体会の開催状況と主な議題

	日時	主な議題	参加機関	参加人数
1	5月30日	<p>【主な内容】</p> <p>一部</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度活動報告 令和元年度活動計画 精神障害者にも対応した地域包括システムの構築 新規参入事業所紹介 <p>二部</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会 「これだけは知っておきたい薬の基礎知識」 講師：愛知県中薬剤師会副会長 丸の内大島薬局 大島秀康氏 	60 機関	68 名
2	11月19日	<p>【主な内容】</p> <p>一部</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度前期（4月～10月）活動報告 精神障害者にも対応した地域包括システムの構築 新規参入事業所紹介 地域生活移行個別支援特別加算について（愛知県地域生活定着支援センター） 	43 機関	53 名

	<input type="checkbox"/> 部 ・研修会 「訪問看護の活用と連携 ～その人らしい療養生活をサポート～」 講師：一般社団法人名古屋市療養サービス事業団 名古屋市港区・熱田訪問看護ステーション 所長 中村 美喜氏		
合計	2回	103 機関	121 名

② 協議会全体の活動状況

部会名	開催回数（計画）
全体会	2回（2）
運営会議	6回（6）
相談支援部会	11回（12）
福祉ふれあいサポーター部会	9回（8）
広報部会	4回（5）
ネットワーク部会	6回（7）
児童部会	10回（7）
合計	48回（47）